



5年前に西当別地区の方が中心となり結成した当別混声合唱団パストラルクワイヤ。約30名の団員が今月に開催する初コンサートの成功へ向け、声に磨きをかけています。

現代を生きる①

歌を通して 地域の輪を広げる

当別混声合唱団 パストラルクワイヤ

パストラルクワイヤ5周年記念コンサート

日時 10月20日(土) 午後3時開演
会場 西当別コミュニティーセンター(入場無料)
曲目 アヴェマリア、椰子の実、ともしび
落葉松など全12曲
問合せ 吉田(☎26-3691)

最初は初心者の方が多かったのです

歌うことを通して地域の方との交流を深め、一緒に音楽に触れる喜びを分かち合おうとの思いを込めて「田園の合唱団」との意味がある「パストラルクワイヤ」と名付けました。

当初は、10名足らずのメンバーで、ほとんどが初心者であり、譜読みや声合わせに時間がかかり、苦勞もありました。しかし、活動していくうちに、少しでも多くの曲を歌えるようになりたいと向上心が芽生え、週に1度の練習のほかに、自宅やパートごとに分かれて特訓し、メキメキ上達していきました。

現在では、子育て中の方から退職している方まで幅広い年齢層の男性11名、女性20名が在籍し、

ステップアップを目指して、活動を続けています。

歌うことの楽しさは

歌える曲目が増えるにつれて、地域のお祭りや当別ふくろう音楽祭、当別町文化祭などのイベントから声がかかるようになり、人前で発表する機会が増えました。

ステージ上で発表することは、仲間や観客と一体感を感じ、

歌う喜びを味わうことができます。メンバーの中には、1回ステージに立って病みつきのようになったという人もいる程です。

5周年記念コンサートでは、4部構成で、常任指揮者のほかに客演の指揮者を招いて趣向を凝らした発表にしようと考えています。息の合ったハーモニーをみなさんへ届けようと心を一つに練習を続けていますので、是非、私たちの5年間の足跡を聴いてもらいたいと思います。



心を楽しませて 老いを忘れる



当別町では今年、5名の方が百歳を迎えられ、その長寿をお祝するため、9月の老人の日に内閣総理大臣から祝状と記念品が贈られました。そのお一人である入江遠（いりえ とおし）さんに泉亭町長が祝状等をお届けし、お話を聞かせていただきました。



スウェーデンヒルズでご家族と元気に生活している入江さん



泉亭町長 今年、入江さんは満百歳になられ、とてもお元気で誠におめでとうございます。

入江さんは、北大で有機化学を研究されていたそうですが、当時の思い出などをお聞かせ願えないでしょうか。

入江さん 私は、子供の頃から北海道に憧れを抱いていました。昭和5年、北大理学部第1期生として入学し、杉野目晴貞先生（7代学長）に師事し、先生から「人がやらないことをやれ」と教えられ、当時はほとんど研究されていなかった海藻の成分の有機化学的研究をはじめました。

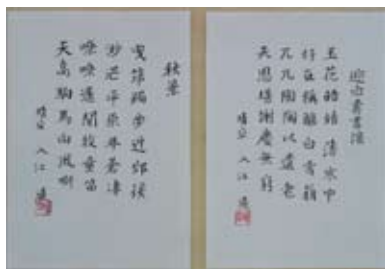
研究を重ねていくうちに新しい化合物が次々と発見されたの

で世界中の多くの学者が海藻に関する研究をはじめました。

現在でも、この研究が続けられています。優秀なパートナーにも恵まれ、とても有難く、感謝の気持ちで一杯です。

泉亭町長 入江さんは77歳まで研究を続けられたそうですが、現在はどの様にお過ごしですか。

入江さん 77歳になって「心を楽しませて、老いを忘れる」を座右の銘として、自分の好きなことをやってみようと思いました。教室の後継者の研究成果を聞くのも楽しみの1つですが、趣味として、油絵、漢詩、篆刻（てんこく）などに親しんでいます。これらはとにかく楽しいです。



漢詩の二松詩文会に所属し、漢詩を創作されています。



泉亭町長 入江さんは、当別町についてどの様な印象をお持ちですか。またまちづくりにどの様なことを望みますか？

入江さん 当別の自然は絵になるところが沢山あり、つくづく良いところだと思っています。街中の曲がりくねった道路も面白いですが、当別駅前がきれいに整備され、大変に良くなったと感じています。

これからも農業を大切にし、同時にまちの近代化を進めていただきたい。

泉亭町長 入江さんの実績あるお話には説得力があり、私も大いに教えられ、啓発されました。

入江さんは常に前向きで、好きなご趣味を堪能され、そのお姿には頭が下がります。

私も若々しい入江さんを目標に頑張らねばと、思いました。今日は、有難うございました。

告 白